



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社駒井ハルテック
コード番号 5915 URL <http://www.komaihaltec.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 進
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 貴任

TEL 03-3833-5101

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	26,082	0.0	997	94.6	1,094	94.2	1,054	113.5
29年3月期第3四半期	26,076	0.7	512	64.5	563	61.4	493	62.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,857百万円 (78.1%) 29年3月期第3四半期 1,042百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	221.53	
29年3月期第3四半期	101.01	

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。29年3月期第3四半期につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	56,604	29,278	51.7	6,196.55
29年3月期	56,068	28,062	50.0	5,743.02

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 29,278百万円 29年3月期 28,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.50		25.00	
30年3月期		30.00			
30年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	6.9	1,370	25.1	1,400	22.9	1,250	23.5	262.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年2月13日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	4,972,709 株	29年3月期	4,972,709 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	248,071 株	29年3月期	86,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	4,758,864 株	29年3月期3Q	4,887,808 株

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。29年3月期第3四半期につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. その他	8
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、一方、世界経済においては、アメリカを始めとする一部海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響による不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁は国土交通省等の公共投資が増加したことなどにより、発注量は前年同四半期を上回りましたが、依然熾烈な受注競争が続いております。また、鉄骨の発注量も首都圏の再開発を中心に前年同四半期をやや上回る水準で推移いたしました。

このような厳しい環境のなか、鋭意受注活動に注力した結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は総額255億8千8百万円（前年同四半期比58.6%増）、売上高は手持工事を順調に消化したことなどにより総額260億8千2百万円（同0.0%増）となりました。

損益につきましては一部大型橋梁工事の追加変更獲得および設備投資による生産性向上効果もあり営業利益9億9千7百万円（同94.6%増）、経常利益10億9千4百万円（同94.2%増）を確保し、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券を売却したことによる特別利益計上などにより10億5千4百万円（同113.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

— 橋梁事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、和歌山県・平成29年度 県債道改交金 第102号山内恋野線（恋野橋上部）道路改良工事、都城市・大修更 第3号 甲斐元通線（歌舞伎橋）整備事業 歌舞伎橋上部工工事他の工事で136億3千2百万円（前年同四半期比129.9%増）と大幅増加となりました。

完成工事高は、国土交通省中国地方整備局・鳥取西道路大満高架橋第2鋼上部工事、国土交通省東北地方整備局・青ぶな山地区1号橋上部工工事他の工事で90億7百万円（同2.9%減）となり、これにより受注残高は166億4百万円（同52.8%増）となっております。

— 鉄骨事業 —

当第3四半期連結累計期間の受注高は、新千歳空港国際線旅客ターミナルビル施設再整備、大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業A棟新築工事他の工事で117億4百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

完成工事高は、大手町二丁目地区再開発施設建築物B棟工区建設工事、（仮称）TGMM芝浦プロジェクト（A棟・ホテル棟新築工事）他の工事で164億1千5百万円（同2.7%増）となり、これにより受注残高は203億4千2百万円（同19.9%増）となっております。

— 不動産事業 —

当社グループは、大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分等について賃貸による不動産事業を行っており、当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は3億2千7百万円（前年同四半期比2.2%増）となっております。

— その他 —

当社グループは、その他の事業として風力発電等による環境事業および印刷事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は、3億3千2百万円（前年同四半期比33.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より5億3千6百万円増加し566億4百万円となりました。

資産の部では、前連結会計年度末より現金預金が4億8百万円増加したものの、受取手形・完成工事未収入金が4億9千1百万円減少したことなどにより、流動資産が4億3千4百万円減少し340億5千1百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末より9億7千万円増加し225億5千3百万円となりました。

負債の部では、前連結会計年度末より支払手形・工事未払金が15億7千4百万円減少したものの、短期借入金が11億1千8百万円増加したことなどにより、流動負債が1億3千1百万円増加し162億2千9百万円となりました。固定負債は110億9千5百万円となり、負債合計は前連結会計年度末より6億8千万円減少し273億2千5百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末より利益剰余金が7億9千万円増加したことなどにより、純資産は12億1千6百万円増加し292億7千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想および個別業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,821	10,230
受取手形・完成工事未収入金	16,727	16,236
電子記録債権	5,724	5,505
未成工事支出金等	898	1,235
繰延税金資産	283	277
その他	1,039	574
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	34,486	34,051
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	4,734	4,595
機械・運搬具(純額)	810	803
土地	10,565	10,565
その他(純額)	272	326
有形固定資産合計	16,382	16,292
無形固定資産	75	78
投資その他の資産		
投資有価証券	4,771	5,917
その他	446	358
貸倒引当金	△93	△92
投資その他の資産合計	5,124	6,182
固定資産合計	21,582	22,553
資産合計	56,068	56,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	9,270	7,695
短期借入金	2,872	3,991
1年内償還予定の社債	2,030	2,140
未成工事受入金	640	440
工事損失引当金	221	318
引当金	397	215
その他	666	1,429
流動負債合計	16,098	16,229
固定負債		
社債	5,050	4,950
長期借入金	2,147	1,100
繰延税金負債	2,102	2,415
退職給付に係る負債	2,340	2,366
その他	266	263
固定負債合計	11,907	11,095
負債合計	28,006	27,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	8,233	8,233
利益剰余金	11,851	12,642
自己株式	△220	△596
株主資本合計	26,485	26,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,920	2,653
退職給付に係る調整累計額	△343	△273
その他の包括利益累計額合計	1,576	2,380
純資産合計	28,062	29,278
負債純資産合計	56,068	56,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
完成工事高	26,076	26,082
完成工事原価	23,581	22,939
完成工事総利益	2,494	3,143
販売費及び一般管理費	1,982	2,146
営業利益	512	997
営業外収益		
受取配当金	103	125
受取家賃	32	33
材料屑売却益	16	33
雑収入	23	19
営業外収益合計	174	212
営業外費用		
支払利息	70	62
社債発行費	33	30
支払手数料	16	18
雑支出	3	3
営業外費用合計	123	114
経常利益	563	1,094
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	148
特別利益合計	0	148
特別損失		
固定資産除売却損	1	10
投資有価証券評価損	0	0
特別損失合計	1	10
税金等調整前四半期純利益	562	1,232
法人税、住民税及び事業税	80	193
法人税等調整額	△12	△14
法人税等合計	68	178
四半期純利益	493	1,054
親会社株主に帰属する四半期純利益	493	1,054

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	493	1,054
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	62	70
その他有価証券評価差額金	486	733
その他の包括利益合計	549	803
四半期包括利益	1,042	1,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,042	1,857
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合は、当該原価差異を流動資産（その他）として繰延べております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 高	橋梁事業	5,928	36.7	13,632	51.9	10,594	29.8
	鉄骨事業	10,139	62.9	11,704	44.5	24,892	70.0
	その他	67	0.4	945	3.6	84	0.2
	合 計	16,135	100.0	26,282	100.0	35,571	100.0

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (平成28年12月31日現在)		当第3四半期 連結累計期間 (平成29年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成29年3月31日現在)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
受 注 残 高	橋梁事業	10,866	39.0	16,604	44.0	11,979	32.3
	鉄骨事業	16,973	60.8	20,342	53.9	25,053	67.6
	その他	59	0.2	770	2.1	49	0.1
	合 計	27,899	100.0	37,716	100.0	37,081	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

項 目		前第3四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋梁事業		9,273	35.6	9,007	34.5	12,825	35.2
鉄骨事業		15,980	61.3	16,415	62.9	22,653	62.1
不動産事業		319	1.2	327	1.3	421	1.1
その他		502	1.9	332	1.3	567	1.6
合 計		26,076	100.0	26,082	100.0	36,468	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。